

氏名	加藤 望
よみ	かとう のぞみ
英字	Kato, Nozomi
オフィスアワー	火曜1限 研究室3
プロフィール	名古屋市出身，私立幼稚園等保育職を経て、愛知淑徳大学福祉貢献学部子ども福祉専攻助教の後、現在に至る
職位	現代幼児教育学科 助教
最終学歴	愛知教育大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻 幼児教育領域 博士前期課程修了
学位	教育学修士
所属学会・役職	日本保育学会，日本乳幼児教育学会，日本子ども社会学会，国際幼児教育学会，中部教育学会，日本保育者養成教育学会，日本質的心理学会
専門分野	幼児教育学
研究テーマ	一時預かり保育における保育者の実践的知識に関する研究（研究課題/領域番号18K13130）
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『絵本から子ども福祉を考える』春風社 2016年7月</li> <li>『コンパス 保育内容 言葉』建帛社 2016年</li> <li>『保育の原理』福村出版 2018年</li> <li>『保育内容総論』株式会社みらい 2018年</li> </ol> <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「幼児と保育者の相互受容関係について」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第5号 2015年</li> <li>「日本の乳幼児教育・保育における持続可能な開発のための教育（ESD）の現状と課題」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第6号 2016年</li> <li>「幼児期の持続可能な開発のための教育の国際的動向」（共著）愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第6号 2016年</li> <li>「地域型保育事業の実情と課題—事業所内保育事業における実践研究—」（共著）愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第7号 2017年</li> <li>「父親の自己受容に関する研究:2000年代初頭を対象として」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第7号 2017年</li> <li>「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究—全国保育士養成協議会研究発表論文集を対象として—」（共著）名古屋市立大学大学院人間文化研究科『人間文化研究』28号 2017年</li> <li>「子ども主体の考え方に基づく環境構成指導の試み—壁面構成作成に関する学生指導の実践的研究—」愛知淑徳大学論集福祉貢献学部篇 第8号 2018年</li> <li>「なぜ日本の乳幼児子育て期の保護者はリフレッシュ目的で一時預かり事業を利用しにくいのか？」（共著）広島大学大学院教育学研究科紀要第三部，第67号 2019年</li> <li>「マンガに描かれる保育者イメージに関する+B12:B36の研究」（共著）瀬木学園紀要，第14巻 2019年</li> <li>「子どもの情緒を安定に導く—一時預かり事業担当保育者の実践的知識～リー・ショーマンの「知識基礎」カテゴリーに着目して～」国際幼児教育学研究 第26巻 2019年</li> <li>「一時預かり事業に生起する葛藤とその背景」保育学研究，第57巻 2019年</li> <li>「高学歴女性の仕事と育児や家事の鼎立を阻む社会的状況—うえの式質的分析法を用いて—」（共著）幼年教育研究年報，第41巻 2019年</li> <li>「質的データ分析法としてのSCATとうえの式質的分析法の比較—幼稚園長のインタビューデータから—」（共著）広島大学大学院教育学研究科紀要第三部，第68号 2019年</li> <li>「女性・母親に向けられるアンコンシャス・バイアスという眼差し」（共著）広島大学大学院教育学研究科紀要第三部，第68号 2019年</li> </ol>

**【発表】**

1. 『一時的な保育における子どもの情緒安定を目指して』日本保育学会 第68回大会 ポスター発表 2015年
2. 「2歳児の対人葛藤場面における他者受容に関する研究」日本保育学会第69回大会 口頭発表 2016年
3. 「保育者養成校におけるアクティブ・ラーニング活用の実態と課題に関する研究」一般社団法人保育士養成協議会 第55回 研究大会 共同発表2016年
4. 「マンガにみる保育者の専門性に関する研究—保育行為に着目して—」日本子ども社会学会第24回大会 口頭発表(共同)2017年
5. 「The Professionalism of male ECEC teachers in Japanese Manga Culture -A Pilot Study Using Qualitative Visual Content Analysis-」18th International Conference of the Pacific Early Childhood Education Research Association ポスター発表(共同)2017年
6. 「一時預かり保育において保育者は子どもの受容にどんな困難や葛藤を抱いているのか」日本保育学会第71回大会 口頭発表 2018年
7. 「一時預かり保育における保育者の職務満足感に関する研究」中部教育学会 第67回大会 口頭発表2018年
8. 「A Study on the Image of Child Care Workers in Manga(マンガに描かれた保育者のイメージに関する研究)」19th International Conference of the Pacific Early Childhood Education Research Association ポスター発表(共同)2018年
9. 「A Study on the Contents and Management Approaches to System of Temporary Childcare in Japan(日本における一時預かり事業制度の内容と運営に関する研究)」European Early Childhood Education Research Association 28th Conferenceポスター発表 2018年
10. 「なぜひフレッシュ目的での一時預かり事業は利用しにくいのか？」日本乳幼児教育学会 第28回大会 口頭発表(共同) 2018年
11. 「保育実習日誌から読み解く養成校学生の学びのプロセス」日本保育者養成教育学会 第3回大会 口頭発表(共同)2019年
12. 「女性・母親に向けられるアンコンシャス・バイアスという眼差し」日本発達心理学会. 第30回大会. ラウンドテーブル(共同)2019年
13. 「通常の保育から一時預かり担当になった保育者はどんな葛藤を抱えているのか」日本保育学会. 第72回大会. 大妻女子大学, 2019年
14. 「子どもの情緒を安定に導く一時預かり担当保育者の実践的知識～リー・ショーマンの「知識基礎」カテゴリーに着目して～」日本子ども社会学会. 第26回大会. 2019年
15. "A Study of Teacher's Practical Knowledge of Guiding Children's Emotional Well-being" Pacific Early Childhood Education Research Association. 20th International Conference. 2019年
16. 「高学歴女性の仕事と育児や家事の鼎立を阻む社会的状況—うへの式質的分析法を用いて—」日本質的心理学会. 第16回大会(共同). 2019年
17. 「質的データ分析法としての「SCAT」と「うへの式質的分析法」の比較:幼稚園長のインタビューから」日本質的心理学会. 第16回大会. (共同)2019年

**【社会活動】**

1. 尾張旭市 中堅保育士研修講師 2015年度～2017年度
2. 碧南市 公開保育研修/主任者研修講師 2016年度～現在
3. 名古屋私立幼稚園協会 教員研修講師 2018年度～現在